



## 2026年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス 上場取引所 東  
 コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 井本 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一  
 配当支払開始予定日 TEL 0898-23-2243  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	8,267	6.1	596	6.0	651	3.2	401	5.4
2025年2月期第3四半期	7,792	10.6	634	35.8	673	25.9	424	30.4

(注)包括利益 2026年2月期第3四半期 458百万円 (-11.0%) 2025年2月期第3四半期 514百万円 (27.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	434.96		
2025年2月期第3四半期	459.80		

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	6,347	3,603	51.7
2025年2月期	6,223	3,271	48.3

(参考)自己資本 2026年2月期第3四半期 3,279百万円 2025年2月期 3,007百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期				135.00	135.00
2026年2月期(予想)				135.00	135.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	10,700	0.8	880	0.0	954	0.0	504	0.0

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期3Q	953,600 株	2025年2月期	953,600 株
期末自己株式数	2026年2月期3Q	30,468 株	2025年2月期	30,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期3Q	923,132 株	2025年2月期3Q	923,132 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(会計方針の変更に関する注記) .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年3月1日～2025年11月30日）における我が国経済は、インバウンド需要の継続的な増加や企業の設備投資の堅調な推移に支えられ、緩やかな回復基調を維持しました。

一方、世界経済は米国の関税政策、中東情勢の緊迫化、欧州におけるエネルギー価格の高止まりなど、不安定要因が多く存在しています。さらに、11月以降は中国による渡航自粛や輸入制限が強化され、日本企業の観光関連事業や輸出入取引に影響が顕在化しました。これらの要因により、国内外における経済の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社グループは、リユース事業では、引き続き給与水準の見直しを行うとともに、九州地方での新規出店に向けた準備を継続しました。また、フードサービス事業では、経営資源の選択と集中を進め、重点業態への投資を強化しました。

新規出店は、リユース事業で5月に1店舗（カンボジア王国プノンペン）、6月に2店舗（福岡県北九州市）、8月に1店舗（タイ王国バンコク）、10月に2店舗（宮崎県延岡市）を新規出店しました。

一方、9月にフードサービス事業1店舗（愛媛県松山市）、地方創生事業2店舗（京都府大山崎町、愛媛県鬼北町）を閉店しました。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業114店舗、フードサービス事業24店舗、地方創生事業8施設、合計146店舗となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,267,886千円（対前年同四半期比6.1%増）、営業利益596,274千円（同6.0%減）、経常利益651,741千円（同3.2%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は401,526千円（同5.4%減）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりあります。

#### (リユース事業)

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、ハードオフ本部・ブックオフ本部の経営理念を現場で行動に移し、店舗運営のスタンダードを実現できる人材育成に取り組み、九州地方における新規出店の準備を行いました。海外事業ではカンボジア王国プノンペンにて店舗移転及び新規出店、タイ王国バンコクにて新規出店に取り組みました。

この結果、売上高6,155,490千円（対前年同四半期比7.1%増）、セグメント利益（営業利益）898,523千円（同5.9%減）となりました。

#### (フードサービス事業)

モスバーガー事業では、厨房機器の更新を行いお客様のニーズに対応できるお店づくりに取り組みました。

トマト&オニオン、とり壱などの業態も堅調に推移しました。

この結果、売上高1,829,744千円（対前年同四半期比1.9%増）、セグメント利益（営業利益）163,717千円（同39.5%増）となりました。

#### (地方創生事業)

原材料費・光熱費をはじめとした各種コストは上昇していますが、事業業態の現状分析を行い将来の成長を見込める分野と撤退する分野の選択を行い収益性の改善に取り組みました。

この結果、売上高282,651千円（対前年同四半期比12.9%増）、セグメント損失（営業損失）143,571千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）135,179千円）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて186,171千円減少し、3,057,840千円となりました。現金及び預金が371,355千円減少し、商品が127,118千円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて309,609千円増加し、3,289,498千円となりました。有形固定資産が270,855千円、投資その他の資産が40,467千円それぞれ増加したことが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて123,438千円増加し、6,347,338千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて205,207千円減少し、1,023,919千円となりました。1年内返済予定の長期借入金が263,277千円、未払法人税等が43,613千円それぞれ減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3,114千円減少し、1,719,851千円となりました。長期借入金が36,593千円減少したことが主な要因です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて208,322千円減少し、2,743,770千円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて331,761千円増加し、3,603,567千円となりました。利益剰余金が276,903千円増加したことが主な要因です。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月14日に公表しました「2025年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,734,160	1,362,805
売掛金	128,706	170,260
商品	1,186,439	1,313,557
その他	196,487	213,238
貸倒引当金	△1,783	△2,021
流動資産合計	3,244,011	3,057,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,029,730	1,207,128
その他（純額）	671,734	765,191
有形固定資産合計	1,701,464	1,972,320
無形固定資産	24,344	22,631
投資その他の資産		
差入保証金	495,634	528,484
その他	768,681	776,509
貸倒引当金	△10,237	△10,447
投資その他の資産合計	1,254,079	1,294,546
固定資産合計	2,979,888	3,289,498
<b>資産合計</b>	<b>6,223,900</b>	<b>6,347,338</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	61,386	79,918
1年内返済予定の長期借入金	567,421	304,144
未払法人税等	132,207	88,594
その他	468,111	551,261
流動負債合計	1,229,127	1,023,919
固定負債		
長期借入金	914,456	877,863
退職給付に係る負債	35,373	37,575
役員退職慰労引当金	106,437	113,093
関係会社事業損失引当金	2,700	1,000
資産除去債務	465,831	487,140
その他	198,167	203,178
固定負債合計	1,722,966	1,719,851
<b>負債合計</b>	<b>2,952,093</b>	<b>2,743,770</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	2,371,982	2,648,885
自己株式	△70,666	△70,666
株主資本合計	2,912,330	3,189,234
その他包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,009	37,280
為替換算調整勘定	64,033	52,505
その他の包括利益累計額合計	95,043	89,785
非支配株主持分	264,432	324,548
純資産合計	3,271,806	3,603,567
<b>負債純資産合計</b>	<b>6,223,900</b>	<b>6,347,338</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	7,792,071	8,267,886
売上原価	2,659,928	2,825,233
売上総利益	5,132,143	5,442,653
販売費及び一般管理費	4,497,757	4,846,378
営業利益	634,385	596,274
営業外収益		
不動産賃貸料	38,413	43,693
受取負担金	14,072	17,263
補助金収入	7,797	8,554
受取手数料	11,232	11,358
その他	18,489	26,008
営業外収益合計	90,005	106,878
営業外費用		
支払利息	8,875	9,020
不動産賃貸原価	36,817	42,012
その他	5,212	378
営業外費用合計	50,905	51,411
経常利益	673,485	651,741
特別損失		
固定資産除却損	-	1,575
店舗閉鎖損失	2,831	16,350
特別損失合計	2,831	17,925
税金等調整前四半期純利益	670,654	633,815
法人税、住民税及び事業税	151,924	146,863
法人税等調整額	33,669	23,648
法人税等合計	185,594	170,512
四半期純利益	485,060	463,303
非支配株主に帰属する四半期純利益	60,601	61,776
親会社株主に帰属する四半期純利益	424,458	401,526

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	485,060	463,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,389	6,270
為替換算調整勘定	26,117	△11,471
その他の包括利益合計	29,506	△5,201
四半期包括利益	514,567	458,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,121	396,267
非支配株主に係る四半期包括利益	74,445	61,833

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,746,372	1,795,366	250,332	7,792,071	-	7,792,071
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	5,746,372	1,795,366	250,332	7,792,071	-	7,792,071
セグメント利益又は損失 (△)	954,643	117,378	△135,179	936,842	△302,457	634,385

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リユース事業	フード サービス事業	地方創生事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,155,490	1,829,744	282,651	8,267,886	-	8,267,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	6,155,490	1,829,744	282,651	8,267,886	-	8,267,886
セグメント利益又は損失 (△)	898,523	163,717	△143,571	918,669	△322,394	596,274

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	160,534千円	194,288千円